



外国出張報告書

平成 27 年 9 月 14 日

1. 出張国名 モンゴル
2. 出張月 平成 27 年 6 月～7 月
3. 出張目的 家畜が採食した草種構成を判別する手法開発のためのアルカン含量の分析：A

4. 成果の概要

アルカン法を用いて家畜が採食した草種構成を推定するために、複数の草種を組み合わせたサンプルを調整し、そのアルカン含量を分析した。モンゴルのステップ地域の主要草種である 6 草種 (*Stipa sibirica*, *Carex pediformis*, *Potentilla bifurca*, *Artemisia Adamsii*, *Agrophyron cristatum*, *Leymus chinensis*) からそれぞれ 3 草種ずつを混合したサンプルを 42 種類作成して、それぞれのアルカン含量をガスクロマトグラフを用いて分析した。